

## 入学式式辞

令和6年度の新入生の皆さん、そしてご列席の保護者の皆様方、長崎国際大学学長の中村誠司でございます。この度の本学へのご入学、誠におめでとうございます。我々長崎国際大学の教職員一同は、本学を選んでいただいた皆さんを心から歓迎いたします。

本日は天候も良く、今年は開花が遅れたお陰で桜の花にも恵まれ、晴れ晴れとした気持ちで入学式に臨んでおられると思います。大学に入学したら、あれをしよう、これをしようと、希望に満ち溢れているのではないのでしょうか。皆さんが大学生活を存分に楽しめるよう、精一杯に支援をさせていただく所存ですので、宜しく願い申し上げます。

本学の建学の理念は「いつも、人から。そして、心から。」です。日本人に特有のホスピタリティの精神を大切にし、教養科目に「茶道文化」を設けているのが本学の教育の特徴の一つです。日本特有のホスピタリティを表す「お持て成し」という言葉があります。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の誘致活動の際に、キーワードが「お持て成し」だったことは記憶に新しいと思います。また、その後も、日本の選手や応援団が試合後に率先してロッカールームや観客席を掃除するたびに、さらには災害時などの大変な状況下においても、日本人の行動は世界から称賛を浴びています。これらの日本人の行動は「ホスピタリティ」の精神に基づいていると思いますので、本学独自の学びを通じて、日本人の学生の場合は改めてその精神をより強いものに、留学生の場合には日本で学ぶ意義の一つにしていただければと思います。その上で地域社会に貢献し、さらには世界に向けて発信し、社会で活躍できる人材に育っていくことを期待しています。

私の皆さんへの願いを表すと、「大学生活を大いに楽しんでいただきたい」という一言に尽きます。そのためには皆さんは何をすべきか。ぜひ、できるだけ早いうちに大学生活の目標を定めていただきたいと思います。まずは、入学後のオリエンテーションなどで、本学で何を学べるのか、その学びによって何を得ることができるのかを確認し、その上で目指したい目標を定めていただければ幸いです。人は明確な目標があれば、それを目指して頑張ることができますが、目標を持たずにただ頑張るというのでは長続きはしません。

私は60歳を過ぎてからマラソンに挑戦していますが、この歳になると誤魔化しは効かず、いきなり42.195キロは走れません。時間を掛けて準備をし、必要な筋力や持久力を蓄えておくことが必要です。また、走り高跳びも幅跳びも、十分な助走をし

ないと良く飛べませんし、持っている実力を発揮することもできません。人生も同じではないでしょうか。大学生活は社会人になるための最終段階の準備であり、助走でもあるとも言えます。また、設定する目標は、身の丈に合ったものに拘る必要はなく、皆さんは無限大の可能性を秘めていますので、遠慮なく高い目標を持っていただければと思います。高い志を持つことは大歓迎ですし、やり甲斐も大きくなり、達成できた暁にはより強い達成感を味わうことができます。人は成功よりも失敗から学ぶことが多いですので、失敗を恐れず、積極的にチャレンジをしてください。さらに、大学生活では幅広く豊かな人間性や社会性を身に付けることも大切ですので、サークルやボランティア活動にも参加し、社会とも積極的に触れ合ってください。よく学び、よく遊び、大学生活を楽しみ、これからの人生に向けて十分な準備をし、助走を付けて、社会に羽ばたいてください。

余談になりますが、私が繰り返し用いた「大学生活を楽しむ」の「楽しむ」を英語ではどう訳しますか？ 私は「enjoy」が適切だと思います。「enjoy」は「満喫する」「経験する」という意味もあり、「楽しめる行動をする」という行動を意味します。つまり、私が用いた「楽しむ」という言葉には、皆さんの意思で行動し、時には辛くても、歯を食いしばって一生懸命に頑張り、その結果、やり甲斐や達成感、つまり楽しみを感じて欲しいという気持ちを込めています。ぜひ、大学生活をエンジョイしてください！

最後になりますが、本学を卒業すると、一人の大人としての人生が始まります。大人になるにはどんな資質が必要なのでしょう？ 簡単にいうと、自ら考え、自ら決断し、自ら行動し、そして自ら責任を持つということではないでしょうか。大学生活では、一人前の大人になるための仕上げとして、自分の力で生活をする「自立」に加えて、自らを律する「自律」ができるようになっていただければと思います。

長崎国際大学は、皆さんが大学生活をエンジョイできるよう、そして自律した大人に成長できるよう、教職員一同、全力で支援をいたします！

これをおもちまして、私からの祝辞とさせていただきます。本日は誠におめでとうございます。

令和6年4月2日

長崎国際大学学長 中村 誠司